

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和2年度 第4回 監査委員定例協議会

開催日時 令和2年8月6日(木) 午前9時15分～11時23分

出席者 監査委員 村松 眞、白鳥三和子、山根田鶴子、山本 彰彦
事務局長 森井 聡
書記 小倉 淳司
白鳥 浩司、山田 裕、鈴木 浩之、稲葉 典子
石川 修之、山本 和延、神山 悟
新海 拓也、望月健司郎、杉村 浩史

会議内容

1 開会宣言 小倉次長

2 例月現金出納検査等(6月分)

小倉次長から、会計毎の予備検査の結果について現金出納の経理処理が適正に処理されている旨の報告があった。

その後、各会計の担当部局ごとに説明を聴取し、監査委員による質疑や預金証書等の確認を行った。

それに続き、新海係長から、第3回定例協議会で実施された病院事業会計例月現金出納検査(5月分)で委員から質問のあった令和2年4月と5月の医業未収金の計上額の差額に関連して、4月分には一般会計負担金に係る未収金が計上されており、それにより、両月間で医業未収金の計上額に差額が生じたとの説明があった。

(1) 説明者等

ア 各種会計 静岡会計課長

イ 病院事業会計 病院総務課長、病院施設課長、医事課長

ウ 水道事業会計 経営企画課長、お客様サービス課長

エ 簡易水道事業会計 参与兼保健衛生医療課長、保健衛生医療課簡易水道担当課長、保健衛生医療課参事

オ 下水道事業会計 下水道総務課長

(2) 発言等

ア 各種会計

(白鳥委員)

新型コロナウイルス感染症対応の影響は。

(静岡会計課)

民生費においては、特別定額給付金等負担金、補助金及び交付金18,091,947千円、商工費においては、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金等報償費1,585,095千円の歳出がある。支払資金の確保については、財政課と調整している。

イ 病院事業会計

(白鳥委員)

特別損失の貸方に1,000万円余の数字が入っているが、これはどのような処理をしたものか。

(事務局)

制度新設に伴って4月に計上した会計年度任用職員の過年度分賞与引当金について、6月の賞与支給後に精算し、残額を戻入したものである。

(村松代表)

令和元年度決算審査において判明した、過年度の過誤納金を預り金でなく収益に計上していた件については、雑損失の借方で処理したということによいか。

(事務局)

そのとおりである。

(村松代表)

前年同月に比べ外来患者数に大きな増減はないが、入院患者数が大きく減少している。これは循環器内科の常勤医師が不在となったことに関連しているのか。

(事務局)

循環器内科の常勤医師不在による入院調整も影響しているが、新型コロナウイルス感染症の影響による入院患者数の減少が影響しているとも考える。

ウ 水道事業会計

特になし

エ 簡易水道事業会計

(村松代表)

一時貸出金の残高証明書の宛先が静岡市公営企業管理者宛てとなっているが、静岡市長宛てではないのか。

(簡易水道担当課長)

静岡市長宛ての間違いであるため、修正してもらい、再度提出する。

(白鳥委員)

賞与引当金の関係で、特別損失の借方へ金額が計上されているが、通常、総係費に計上するものではないのか。

(簡易水道担当課長)

令和2年3月分までに相当する経費については、期をまたぐため、特別損失に計上した。4月以降のものは、総係費へ計上している。

オ 下水道事業会計

(山本委員)

その他営業収益の内容の説明の中で、下水道排水設備指定工事店の申請手数料が4件あったということだが、これは更新手続によるものなのか。

(下水道総務課)

今回の4件は新規指定による申請手数料で、手数料は1万円となっている。

更新の際の手数は5千円となっているが、今年度はまだ更新手数料による収益はない。なお、有効期間は5年間である。

(山本委員)

更新手続の周知は行っているのか。

(下水道総務課)

行っている。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第14号 令和2年度工事監査実施計画の策定について

① 説明者 石川係長

② 要 旨 議案集により説明

③ 発言等 特になし

④ 結 果 村松代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

(2) その他連絡事項

ア 令和2年度第3回定例協議会議事録の公表について

・・・・・・・・白鳥次長補佐が説明

イ 8・9月の日程について

・・・・・・・・小倉次長が説明

4 閉会宣言 小倉次長